

令和5年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名： DV相談

基本施策名： 8-1 男女共同参画の推進

担当部課名： 健康福祉部社会福祉課

1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
予算額	0	0	0	0	0	0
補正後予算額	—	—	—	—	—	—
決算額	0	0	0	0	0	0

2. 当該年度執行計画 (目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載)

DV被害者を保護するため、庁内関係各課や弁護士等、様々な機関と連携しながら、相談から、緊急避難、生活再建までワンストップで支援を行います。

3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和6年4月1日

DV被害を保護、支援するまでに各課と連携しながら、相談、緊急支援、生活再建までワンストップで支援を行っています。DV相談者は若年層から高齢者まで幅広い世代の方となっており、相談件数も増加しています。今後もDV被害の個々の状況にあった支援を行っていきます。

令和5年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名： 自殺対策計画策定事業基本施策名： 8-2 人権尊重社会の推進担当部課名： 健康福祉部社会福祉課

1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
予算額	3,172	0	1,561	0	0	1,611
補正後予算額	1,986	0	904	0	0	1,082
決算額	1,986	0	904	0	0	1,082

2. 当該年度執行計画 (目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載)

「我孫子市いのちを支え合う自殺対策計画」の計画期間が令和5年度で満了することから、引き続き自殺対策を推進していくため、我孫子市自殺対策協議会や自殺対策庁内連絡会議と連携を図り、令和5年度末までに次期計画を策定します。

3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和6年4月1日

我孫子市自殺対策協議会や自殺対策庁内連絡会議と連携を図り「第2次我孫子市いのちを支え合う自殺対策計画」を策定しました。今後は計画を推進していき、地域の活力を生かし、様々な分野の人々や組織が密接に連携してかけがえのない命を支え合い、誰も自殺に追い込まれることのないまちづくりを進めていきます。

令和5年度 指定事務事業進行管理表

指定事務事業名： 被爆地への中学生派遣、リレー講座

基本施策名： 8-3 平和社会の推進

担当部課名： 企画総務部企画政策課

1. 事業費

	事業費 (千円)	財源内訳 (千円)				
		国庫支出金	県支出金	地方債	他特定財源	一般財源
予算額	2,861	0	0	0	0	2,861
補正後予算額	1472	0	0	0	0	1472
決算額	1368	0	0	0	0	1368

2. 当該年度執行計画 (目的、時期、対象、方法などの内容を明確に記載)

「我孫子市平和都市宣言」の趣旨を踏まえ、世界の恒久平和と核兵器の廃絶を願い、戦争の悲惨さと平和の尊さを後世に伝えるため、8月に市内の中学生12名を被爆地である長崎へ派遣します。派遣後は「平和の集い」等で広く平和の尊さを伝えていきます。

また、小学校及び派遣中学生OB・OGと調整を図り、市内全13校の小学6年生を対象にリレー講座を実施します。

3. 進行状況の報告

報告基準日： 令和6年4月1日

被爆地への中学生派遣では当初、長崎への派遣を予定していましたが、台風の影響により急遽派遣先と日程を変更し、8月10日から11日の2日間、広島へ市内6校の中学生12名を派遣しました。8月12日には、我孫子市平和祈念式典で派遣報告を行いました。式典終了後の「手賀沼とろう流し」は大雨の影響により中止とし、平和事業推進市民会議委員や派遣中学生、平和祈念式典の参列者が平和への願いを記した灯籠をアビスタに展示しました。

12月3日に開催した平和の集いでは、派遣中学生が現地を感じたことや学んだことについて発表を行いました。

リレー講座は、市内の小学校全13校で実施することができました。歴代の派遣中学生の講師・アシスタントとしての参加促進と講師の育成を図るため、勉強会を開催しました。